

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	支援学校
取り組む課題	(児童・)生徒の自立支援
評価指標	・児童・生徒・保護者の学校満足度の向上 ・地域連携と外部への情報の発信
計画名	「枚方支援学校 ムゲン(夢現)ファーム ～ 根っこワーク・プロジェクト」

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	3 小学部、中学部、高等部間の連携を強め、卒業後の社会自立をみすえたキャリア教育を柱に、一貫性のある教育を実践する。 (2) 児童・生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、学校周辺地域と連携を深め、知的障がい教育の充実・発展を図る。		
事業目標	<p>本事業を活用し「高床式砂栽培システム」を導入することで、本校児童生徒の社会自立に向けた支援を、より豊かなものとする。「ムゲン(夢現)ファーム」を中心とした活動で学校を活性化し、学校全体をつなぐ新たな教育活動を創造する。プロジェクト名にある「夢を実現する菜園」や「野菜の栽培を通じて、自分たちの仕事で社会に貢献する」をテーマに、地域に根差した児童生徒の夢や希望を育む活動を展開していきたいと考える。</p> <p>本計画では支援学校棟2階ルーフトラスに、ビニールハウスを設置。その内部の高床式砂栽培システムで、葉物野菜(漬菜類)を中心とした様々な農作物の生育を行う。ビニールハウス内で生育を行なうことで、安心安全な野菜生産を年間を通じて行なうことができる。砂栽培は従来の路地での農作物生産に比べ連作被害などが起こりにくく、砂は定期的に洗浄すれば繰り返し使用することができる。また、作業工程がシステムティックに構成されているため、様々な障がい特性のある児童生徒にとっても作業内容がわかりやすく、見通しを持って取り組みやすい。本システムを導入することにより、以下の効果を期待したい。</p> <p>ステップ①: 高等部の園芸や職業コース選択者を中心に、生育に関する一連の活動を経験し、技術を身につける。身近な環境で生育状況を観察し自分たちで生産管理を行なうことで、責任をもって仕事をやりとげる粘り強い心を育成する。</p> <p>ステップ②: 作業に習熟した高等部生徒は、中学部や小学部の児童生徒に対し作業の指導や助言を行う。自分自身が身につけた技術を伝達することで、作業に対する姿勢・技術を、より確かなものとする。異年齢間の活動を通じ、積極的に自分の役割を果たす気持ちを育成する。</p> <p>ステップ③: 学校内で職員や保護者に向けて販売活動を行なう。自分たちが生産したものを販売することにより、自分の仕事が必要とされることを実感し自己有用感を高める。</p> <p>ステップ④: 校外での販売(駅前のJA朝市など)で一般の方々に向けて販売を定期的に行なう。一般の販路にのる農作物を生産するために、より徹底した生産管理を行ない、生産チームで共通の目標をもち、目標達成に向けて努力する協働力を養う。同時に、販売活動を行う中で、地域へ向けて支援教育における職業教育の意義や障がい者への理解・啓発について発信する。また、諸活動についてはリアルタイムでブログ等で情報発信を行い、活動についての即時評価を児童生徒・保護者・教職員・関係者全員で共有する。</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	①高床式砂栽培システム: 砂栽培用ベッド(面積1200mm×1800mm)10台、および足場 ②ビニールハウス(面積2m×20m)1戸 ③灌水装置: 散水用設備+タイマー	
	取組内容	前年度	2階ルーフトラスの有効活用を検討。開校準備段階から検討していた「高床式砂栽培システム」導入を提案。
		初年度	職員会議等で事業内容について説明(7月)、「砂栽培」についての職員研修・見学(7・8月)、学習プログラムの検討(8月)、学校見学会にて事業説明(10月)、職員に向けてプレ販売活動+アンケート調査(10月)、学習発表会で販売活動+アンケート調査(11月)、次年度の学習プログラム及び販売実施計画の検討(2月)、学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度検証(3月)、初年度の成果と課題の検証・次年度に向けての改善点の整理及び販売実施計画提案(3月)
		2年目	職業コース生徒中心に京阪村野駅前「JA」朝市で販売活動(年間数回実施)、職業コース説明会で販売活動(6月)、学校見学会にて事業説明(10月)、学習発表会で販売活動+アンケート調査(11月)、作品展で生徒によるワークショップ実施(2月)、次年度の学習プログラム及び販売実施計画の検討(2月)、学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度検証(3月)、2年目の成果と課題の検証・次年度に向けての改善点の整理及び販売実施計画提案(3月)
	3年目	小中高各学部混成チームで京阪村野駅前「JA」朝市で販売活動(年間定期的に実施)、職業コース生徒中心に枚方市役所前で販売活動(5月)、職業コース説明会で生徒によるプレゼンテーションの実施と販売活動(6月)学校見学会にて事業説明(10月)、学習発表会で販売活動+アンケート調査(11月)、作品展で生徒によるワークショップ実施(2月)、次年度の学習プログラム及び販売実施計画の検討(2月)、学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度検証(3月)、3年目の成果と課題の検証・次年度に向けての改善点の整理及び販売実施計画提案(3月)	
取組みの 主担・実施者	取組みの主担: 高等部職業担当教員+キャリアPT(全学部で構成)。 取組みの実施者: 高等部職業コース担当教員を中心に、必要に応じ学部間交流担当者で実施。		
と評価 指標 と評価 指標	成果の 検証方	初年度	学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度評価: 3を70%以上にする。
	2年目	学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度評価: 3を75%以上にする。	
	3年目	学校教育自己診断結果より児童・生徒・保護者の学校満足度評価: 3を80%以上にする。	

学校番号

S19

3. 事業費

事業費総額	2,881,480	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	日本砂栽培協会からの指導助言についての謝礼金	○			¥2,000	3	¥6,000
	2							
	3							
								小計
2 旅費	1	日本砂栽培協会からの講師派遣に関する出張交通費	○	○	○	¥1,000	3	¥3,000
	2							
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	育苗箱 ブラック(1セット:10枚単位)				¥5,184	1	¥5,184
	2	ペーパーポット(1箱)				¥29,550	1	¥29,550
	3	PH測定器(ポケットテスター-PH計 pHテスター-10 pHTestr10)				¥15,900	1	¥15,900
	4	EC測定器(ポケットテスター-EC計 ECテスター-11+)				¥19,980	1	¥19,980
	5	サンプラ ベローズピペット 5ml 1182				¥497	1	¥497
	6	測量ビーカー(TPX 手付きビーカー、50cc)				¥594	1	¥594
	7	ピンセット				¥1,501	1	¥1,501
	8	プラバケツ 13型				¥799	1	¥799
	9	キャリングホースリール(30mホース)				¥9,504	1	¥9,504
	10	採集コンテナ(3個組)				¥2,560	1	¥2,560
	11	ハサミ:フィットカーブ洗えるチタン				¥972	1	¥972
								小計
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1							
	2							
	3							
								小計
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1							
	2							
	3							
								小計
9 工事請負費	1	ガーデン造作工事(電源設置工事)						¥302,519
	2	ガーデン造作工事(水道設置工事)						¥226,800
	3	高床式砂栽培システム設備新設工事						¥2,256,120
								小計
10 負担金・補助及び交付金	1							
	2							
	3							
								小計
							合計	¥2,881,480

積算内訳